

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 港湾事業

事業コード (H22-建-継-13)
箇所名 (本荘港水林地区)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	代替手段の有無	手段に代替性がなく妥当である 手段には代替性がないが改善の余地がある 他の手段と比較検討の余地がある	10 5 3	10	
	社会情勢変化による課題把握とニーズの適合性	港湾事業に対するヒアリング等で具体的な県民、港湾利用者のニーズを把握しており、ニーズの高い事業である。	15	10	
		港湾事業に対するヒアリング等で具体的な県民、港湾利用者のニーズを把握しており、ニーズはある。	10		
		港湾事業に対するヒアリング等で具体的な県民、港湾利用者のニーズを把握しているが、一部のニーズである。 県民、港湾利用者のニーズが把握されていない	5 0		
計		25	20		
緊急性	事業休止・廃止の影響				
	社会経済情勢等による事業休止・廃止の影響	継続実施しないと事業効果や効率性への影響が大きい 継続実施しなくても事業効果や効率性への影響が小さい 継続実施しなければならない特段の理由はない	12 6 0	12	
	他事業との関連				
	他事業との関連	他事業と関連しており、緊急性が高い 他事業と関連しているが、緊急性は低い 他事業との関連はない	8 4 0	8	
	計		20	20	
有効性	期待される効果				
	地域経済の活性化、港の利活用からの効果	効果にかかる指標を設定し、定量的な把握をしている 効果について定性的な把握をしている 事業実施による効果が把握されていない	12 6 0	12	
	上位計画への貢献度				
	ふるさと秋田元気創造プラン	プランの5つの戦略に直接貢献する 各戦略を支える横断的な取組である プランとは別のその他関連事業である	8 4 1	4	
	計		20	16	
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	2.0以上 1.0以上2.0未満 1.0未満	10 5 0	5	
	事業実施コストの縮減				
	コスト縮減の検討状況	十分なコスト縮減が図られている コスト縮減が不十分であり、今後さらに検討する必要がある コスト縮減が図られていない	5 3 0	5	
	当初計画との比較				
当初計画事業費からの増減	減少又は10%未満の増加 10%以上30%未満の増加 30%以上の増加	5 3 1	5		
計		20	15		
熟度	合意形成の状況				
	周辺市町村から県、国等への早期完成要望の有無	有り 無し	2 0	0	
	同盟会・協議会等の早期完成要望活動の有無	有り 無し	2 0	0	
	地元住民による反対運動の有無	有り 無し	0 2	2	
	輸送機関、漁業、港湾関係企業等の調整	調整済み、順調に調整中 未調整	2 0	2	
	その他の協力体制の有無	有り 無し	2 0	0	
	事業の進捗状況				
	進捗状況と今後の見込み	計画より進捗しており、順調に推移する 概ね計画どおりであり、課題はあるが当面進捗に影響がない 計画より遅れている 課題解決の見込みはない	5 3 1 0	5	
	計		15	9	
	合計			100	80

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80点以上		
	優先度が低い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 港湾事業

事業コード (H19-建-再-6)
箇所名 (本荘港水林地区)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	代替手段の有無	手段に代替性がなく妥当である 手段には代替性がないが改善の余地がある 他の手段と比較検討の余地がある	10 5 3	10	
	社会情勢変化による課題把握とニーズの適合性	港湾事業に対するヒアリング等で具体的な県民、港湾利用者のニーズを把握しており、ニーズの高い事業である。	15	10	
		港湾事業に対するヒアリング等で具体的な県民、港湾利用者のニーズを把握しており、ニーズはある。	10		
		港湾事業に対するヒアリング等で具体的な県民、港湾利用者のニーズを把握しているが、一部のニーズである。	5		
計	県民、港湾利用者のニーズが把握されていない	0	20		
緊急性	事業休止・廃止の影響				
	社会経済情勢等による事業休止・廃止の影響	継続実施しないと事業効果や効率性への影響が大きい 継続実施しなくても事業効果や効率性への影響が小さい 継続実施しなければならない特段の理由はない	12 6 0	12	
	他事業との関連				
	他事業との関連	他事業と関連しており、緊急性が高い 他事業と関連しているが、緊急性は低い 他事業との関連はない	8 4 0	8	
	計		20	20	
有効性	期待される効果				
	地域経済の活性化、港の利活用からの効果	効果にかかる指標を設定し、定量的な把握をしている 効果について定性的な把握をしている 事業実施による効果が把握されていない	12 6 0	12	
	上位計画への貢献度				
	秋田 2 1 総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標に貢献しない	8 4 0	8	
	計		20	20	
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	2.0 以上 1.0 以上～2.0 未満 1.0 未満	10 5 0	5	
	事業実施コストの縮減				
	コスト縮減の検討状況	十分なコスト縮減が図られている コスト縮減が不十分であり、今後さらに検討する必要がある コスト縮減が図られていない	5 3 0	5	
	当初計画との比較				
	当初計画事業費からの増減	減少又は 10% 未満の増加 10% 以上 30% 未満の増加 30% 以上の増加	5 3 1	5	
	計		20	15	
熟度	合意形成の状況				
	周辺市町村から県、国等への早期完成要望の有無	有り 無し	2 0	0	
	同盟会・協議会等の早期完成要望活動の有無	有り 無し	2 0	0	
	地元住民による反対運動の有無	有り 無し	0 2	2	
	輸送機関、漁業、港湾関係企業等の調整	調整済み、順調に調整中 未調整	2 0	2	
	その他の協力体制の有無	有り 無し	2 0	0	
	事業の進捗状況				
	進捗状況と今後の見込み	計画より進捗しており、順調に推移する 概ね計画どおりであり、課題はあるが当面進捗に影響がない 計画より遅れている 課題解決の見込みはない	5 3 1 0	3	
	計		15	7	
	合計			100	82

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80点以上		
	優先度が低い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		